

# \*\*第5話：「裏切りの代償」\*\*  
(全10ページ想定)

- > \*\*概要\*\*  
> 第4話でオルビス・インシディアが日本IT産業を狙う計画を本格化させる中、鹿島の不可解な行動がいよいよ表面化。  
> \*\*「家族を人質に取られている」\*\* ことが明かされ、チームは激しく動揺し、崩壊寸前の危機に陥る。  
> 一方、CIPHERと月城はCIA時代に近いレベルの国際陰謀と確信し、国家規模の混乱を阻止するために動くが、鹿島への信頼が揺らぎ、チームが瓦解するストーリー。

---

## \*\*Page 1\*\*  
\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*  
- \*\*場面\*\*: 前回のラスト直後。オフィスで橘&白石、CIPHER、月城が緊張した空気の中、対応を協議。鹿島が席を外している。  
- \*\*目的\*\*: 4話からの続きで“不審な攻撃”“鹿島の行動”などが議題に。

### \*\*Image Prompt (Page 1)\*\*  
`office meeting corner, tense atmosphere, mention of suspicious colleague, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*  
- \*\*名前\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 橘と白石が不安そうにCIPHERを見ている。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*白石\*\*: 「鹿島さん、急に外出したまま戻らなくて…どうしちゃったんだろう…」  
- \*\*橘 (曇り顔)\*\*: 「何か隠してる感じは前からあったけど、ここまで露骨だと…」

#### \*\*Panel 2\*\*  
- \*\*名前\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: CIPHERが陰しい表情で考え込む。月城は静かに見守る。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*CIPHER\*\*: 「……少し調べてみる必要があるな。オフィス外の行動ログとかも。」  
- \*\*月城\*\*: 「でも彼は我が社の重要なアーキテクト。疑うなら証拠を探さないと。」

#### \*\*Panel 3\*\*  
- \*\*名前\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 雰囲気重いまま、橘・白石が顔を見合わせる。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*白石 (心の声)\*\*: 「鹿島さんが裏切るなんて…信じたくないけど…」  
- \*\*橘 (心の声)\*\*: 「尊敬してた先輩が、どうして…？」

---

## \*\*Page 2\*\*  
\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*  
- \*\*場面\*\*: 鹿島が外部で“家族を人質に取られている”事実が描かれる。読者視点で裏切りの理由が明確になるシーン。  
- \*\*目的\*\*: 鹿島の苦悩を直接描き、「なぜ裏切りに走るのか」読者に説明。組織からの圧力が強まる。

### \*\*Image Prompt (Page 2)\*\*  
`dimly lit room or phone call, male engineer looking at family photo, strong emotional impact, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

```
- **ネーム**:  
  1. **構図**：鹿島が家族写真（妻と娘）を見つめる。  
  2. **セリフ**:  
    - **鹿島（心の声）**：「守らなきゃ…絶対に。俺が裏切っても…。」  
  
#### **Panel 2**  
- **ネーム**:  
  1. **構図**：宗方 or その部下からの電話。  
  2. **セリフ**:  
    - **宗方（電話越し）**：「そろそろ次のステップを踏んでもらう。官公庁DXの計画書、手に入れておけ。」  
    - **鹿島**：「……くっ。」  
  
#### **Panel 3**  
- **ネーム**:  
  1. **構図**：鹿島が苦悶の表情。  
  2. **セリフ**:  
    - **鹿島（心の声）**：「ごめん…みんな。でも俺は家族を失うわけにはいかないんだ…！」  
  
---  
  
## **Page 3**  
**Number of panels**：3コマ想定  
  
### **Page Story（概要）**  
- **場面**：鹿島が会社に戻り、CIPHERが問い詰める。鹿島は逆ギレ的に言い返し、周囲に動揺が広がる。  
- **目的**：チーム内部が荒れ始める。新人2人はショックを受け、月城は事態の深刻さを感じる。  
  
### **Image Prompt（Page 3）**  
`office confrontation, two male engineers in heated argument, tension among onlooking coworkers, anime style`  
  
#### **Panel 1**  
- **ネーム**:  
  1. **構図**：鹿島がデスクに戻る。CIPHERが待ち構えている。橘・白石・月城も近くに。  
  2. **セリフ**:  
    - **CIPHER**：「鹿島、どこに行ってた？ さっきの説明も聞かずに消えて…」  
    - **鹿島（苛立ち）**：「お前には関係ないだろ。」  
  
#### **Panel 2**  
- **ネーム**:  
  1. **構図**：CIPHERが強い口調で「何か隠してるだろ？」と追及。  
  2. **セリフ**:  
    - **CIPHER**：「お前の行動が不自然すぎる。現に案件で混乱が起きてるのに、すぐ逃げるように外出して…」  
    - **鹿島（声を荒げ）**：「うるさい！ お前に指図される覚えはない！」  
  
#### **Panel 3**  
- **ネーム**:  
  1. **構図**：橘と白石が「やめてください！」と止めに入る。月城は事態を静かに見つめている。  
  2. **セリフ**:  
    - **橘（焦り）**：「鹿島さん、CIPHERさん、落ち着いて…！」  
    - **白石（不安）**：「こんなの、いつものチームじゃない…」  
  
---  
  
## **Page 4**  
**Number of panels**：3コマ想定
```

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 鹿島が強い言葉を吐き捨て、チームを一時的に離脱する描写。周囲が大きく動揺する。
- \*\*目的\*\*: 「裏切りの片鱗」をキャラ同士で明確にして、チーム崩壊の序盤を描く。

### \*\*Image Prompt (Page 4)\*\*

`office environment, male engineer storming out, shocked newcomers, tense atmosphere, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が机の上の資料を叩き、苛立ちを露わに。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島 (怒気)\*\*: 「勝手にしろ！俺は俺でやるべきことがある…もうお前らとはやってられない！」
  - \*\*橘 (絶句)\*\*: 「な…鹿島さん…？」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がオフィスを飛び出していく。白石が止めようとするが間に合わない。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石\*\*: 「待ってください、鹿島さん…！」
  - \*\*SFX (足音)\*\*: 「ダッ」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 残されたチーム、重苦しい沈黙。CIPHERは拳を握りしめ、悔しそう。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER (心の声)\*\*: 「(ちくしょう…何があった、鹿島…)」

---

## \*\*Page 5\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 鹿島の独白シーン。外で家族からのメッセージや組織からの圧力が続き、精神的に追い詰められている。
- \*\*目的\*\*: 裏切りが「悪意」ではなく「家族を守るため」という葛藤を強調。読者の共感も誘う。

### \*\*Image Prompt (Page 5)\*\*

`urban street at dusk, male engineer alone, phone showing family messages, anguished expression`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が夕刻の街を歩く。スマホに家族の写真が映る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*メッセージ (妻 or 娘)\*\*: 「パパ、早く帰ってきてね！」
  - \*\*鹿島 (心の声)\*\*: 「……」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 宗方 or 組織側からの圧力メッセージ。「官公庁のDX情報を渡せ」等。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方 (メッセージ)\*\*: 「家族の安全はあなた次第です。わかってますよね？」
  - \*\*鹿島 (苦悶)\*\*: 「くそ…どうすれば…」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 鹿島が頭を抱える。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「本当はこんなの嫌だ…でもあいつらに逆らったら…家族が…！」

---

## \*\*Page 6\*\*  
\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*  
- \*\*場面\*\*: チームが鹿島不在で緊急会議。CIPHERは「鹿島が裏で何か握られている」と推測し、橘&白石は半信半疑だが動揺。  
- \*\*目的\*\*: チーム崩壊寸前の状況を可視化。月城がなんとかまとめようとする。

### \*\*Image Prompt (Page 6)\*\*  
`office meeting corner, tense discussion about missing colleague, worried expressions, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*  
- \*\*ネーム\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 橘、白石、月城が机を囲み、CIPHERが情報を整理している。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*CIPHER\*\*: 「鹿島が抜けたことで、案件が止まる部分も多い。対策を急がないと…」  
- \*\*白石（落ち込む）\*\*: 「そんな…鹿島さん無しでやれるのかな…」

#### \*\*Panel 2\*\*  
- \*\*ネーム\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 橘が半分怒り、半分不安の表情。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*橘\*\*: 「でも…裏切りなんて信じたくない。鹿島さんは優秀で、僕が尊敬してた先輩なんです。」  
- \*\*月城（慰め）\*\*: 「わかる。でも今は冷静に状況を見ないと。」

#### \*\*Panel 3\*\*  
- \*\*ネーム\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: CIPHERが決然と前を向く。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*CIPHER\*\*: 「俺が鹿島を探す。一方で君たちは案件の継続を。彼が戻った時に救済できる道を残しておくんだ。」  
- \*\*橘・白石（同時）\*\*: 「……わかりました…！」

---

## \*\*Page 7\*\*  
\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*  
- \*\*場面\*\*: 鹿島が組織側（宗方やカトリヌ）に接触。家族の映像を見せられ、さらに厳しい命令を受ける。  
- \*\*目的\*\*: 裏切りを本格化させる決定打。読者に「鹿島が最終的に仲間を売る覚悟を固めざるを得ない」状況を提示。

### \*\*Image Prompt (Page 7)\*\*  
`dimly lit room or upscale hotel lounge, male engineer forced to watch family hostage threat, ominous vibe, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*  
- \*\*ネーム\*\*:  
1. \*\*構図\*\*: 宗方がタブレットを見せ、そこに鹿島の家族が監視下にある映像。  
2. \*\*セリフ\*\*:  
- \*\*宗方（冷酷）\*\*: 「見ての通り、奥様も娘さんも無事です。…今のところはね。」

- \*\*鹿島（絶句）\*\*: 「やめろ…」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: カトリヌの声（電話や映像越し）も合流し、「これ以上時間をかけるな」と指示。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*カトリヌ（海外のアクセント）\*\*: 「We need the government project details soon. Don't keep us waiting, dear.」
  - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「…どうすれば…！」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がついに折れる姿勢を見せる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（苦悩）\*\*: 「…わかった。言う通りにする。だから家族には手を出すな…！」

---

## \*\*Page 8\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*

- \*\*場面\*\*: CIPHERと月城が別ルートで「鹿島の居場所」や「家族が危険な状況」を突き止めかけるシーン。
- \*\*目的\*\*: 主人公側が鹿島の裏切り理由（家族）に近づく。次回のクライマックスへ向けた布石。

### \*\*Image Prompt（Page 8）\*\*

`office late at night, two senior engineers analyzing personal logs, mention of family hostage clue, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERがPCで鹿島の行動ログを追跡、月城がメモをチェック。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*月城\*\*: 「このGPS履歴…鹿島くんが頻繁に通ってる場所があるわね。会社や自宅じゃない…」
  - \*\*CIPHER\*\*: 「そこに組織の手先がいるのか…？」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 家族関係の記録などがちらっと出る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「鹿島には妻と娘がいる…もしかして…」
  - \*\*月城\*\*: 「まさか家族を脅されている…？」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 2人が表情を曇らせる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER（苦い口調）\*\*: 「国際スパイの常套手段だ。家族を盾に…許せないな。」
  - \*\*月城\*\*: 「もしそうなら、私たちが助けなくちゃ…！」

---

## \*\*Page 9\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*

- \*\*場面\*\*: 橘と白石が作業を続けるが、鹿島の穴は大きく、案件が滞りチームが深刻な状態。2人の心情的にも「鹿島さんをなんとか取り戻したい」と願う。

- **目的**: 新人たちの感情面の動きを描くと同時に、物語にさらに大きな陰謀が迫っている危機感をアップ。

### **Image Prompt (Page 9)**

`office at night, two young employees trying to fix tasks alone, sense of missing key member, subdued lighting, anime style`

#### **Panel 1**

- **名前**:

- 構図**: 橘がコードレビューに苦戦。白石がサポートしているが進捗が遅い。
- セリフ**:
  - 橘** (歯を食いしばる): 「やっぱり鹿島さんがいないと、このシステムの骨格部分が…」
  - 白石**: 「ふたりで頑張るしかない…でも難しいね…」

#### **Panel 2**

- **名前**:

- 構図**: ふと橘が鹿島との思い出 (尊敬していた場面) を回想。
- セリフ**:
  - 橘** (回想セリフ): 「困ったらいつでも俺に聞け」…そう言ってくれたのに…」
  - 白石** (哀しげ): 「何とか戻ってきてほしいね…鹿島さん。」

#### **Panel 3**

- **名前**:

- 構図**: 背景が少し暗転。「しかし現実には甘くない」的な演出。
- セリフ**:
  - モノログ** (ナレ): 「チームに空いた穴は大きく、プロジェクトも深刻な遅延に陥り始める…」

---

## **Page 10**

**Number of panels**: 3〜4コマ想定

### **Page Story (概要)**

- 場面**: エピローグ。鹿島がついに家族を救うため、敵組織への協力を本格化させる決断をする。チームが完全に崩壊寸前。
- 目的**: 第5話のクライマックス＝裏切りが決定的に。読者に大きな衝撃を与え、第6話へ繋ぐ。

### **Image Prompt (Page 10)**

`nighttime, male engineer facing the camera with anguished resolve, partial silhouette, mention of final betrayal, anime style coloring`

#### **Panel 1**

- **名前**:

- 構図**: 鹿島が資料ファイル or USBメモリを手を持っている。
- セリフ**:
  - 鹿島** (心の声): 「…これを渡せば、家族は解放される…俺はもう戻れないかもしれないけど…」

#### **Panel 2**

- **名前**:

- 構図**: 宗方やカトリーヌ側の電話・メッセージを受け取る鹿島。
- セリフ**:
  - 宗方** (メッセージ): 「賢明な選択ですよ、鹿島さん。これで奥様と娘さんは安全だ。」
  - 鹿島** (苦渋): 「…ああ…必ず守れよ…」

#### **Panel 3**

- **名前**:

- 構図**: 鹿島の手元のUSBに「Project File: GovernmentDX」みたいなラベルが映る。
- セリフ**:
  - 鹿島** (心の声): 「みんな…ごめん…」

#### **\*\*(Optional 4コマ)\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:

1. 一方でCIPHERがその動きを察知しようとしている場面を短く挿入。
2. **\*\*CIPHER\*\***: 「まずい…鹿島が本格的に動き出した。俺たちも止めないと…！」
3. **\*\*モノログ (ナレ) \*\***: 「こうして、仲間だったはずの鹿島が敵側に堕ちていく…。次回、第6話――」

---

# **\*\*第6話：「裏切りの代償（後編）」\*\***  
(全10ページ想定)

> **\*\*概要\*\***

> 第5話で鹿島の裏切りが確定的になり、チーム崩壊の危機が頂点に。家族を人質に取られた鹿島はオルビス・インシディアの計画に積極協力してしまう。

> **\*\*CIPHER**たちは裏切りを止めるべく奔走し、鹿島が抜けた穴を埋めながら国家レベルの陰謀と真正面から向き合う。**\*\*** クライマックスでは鹿島の姿が完全に消え、チームは失意に陥るが、物語は次の大きな戦い（7～8話）への布石となる。

---

## **\*\*Page 1\*\***

**\*\*Number of panels\*\***: 3コマ想定

### **\*\*Page Story (概要)\*\***

- **\*\*場面\*\***: 前回ラスト直後。オフィスでチームが鹿島を探しているが行方不明。大きなクライアントプロジェクトが止まり、上層部からクレーム殺到。
- **\*\*目的\*\***: 緊迫した状況を冒頭から描く。新人たちが現実の厳しさを痛感。

### **\*\*Image Prompt (Page 1)\*\***

`morning in the office, tension among team, calls from upper management or big clients, sense of collapse, anime style`

#### **\*\*Panel 1\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:

1. **\*\*構図\*\***: 電話が鳴り響き、白石が対応しきれずパニック。橘も複数のメールに翻弄。
2. **\*\*セリフ\*\***:
  - **\*\*白石\*\***: 「はい…本当に申し訳ありません…。エンジニアが一時的に不在で…！」
  - **\*\*橘 (焦り) \*\***: 「なんだこのメール量…間に合わない！」

#### **\*\*Panel 2\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:

1. **\*\*構図\*\***: 月城が2人に声をかけ、落ち着かせる。
2. **\*\*セリフ\*\***:
  - **\*\*月城\*\***: 「2人とも、一旦深呼吸して。優先順位をつけましょう。」
  - **\*\*白石 (少し涙目) \*\***: 「ごめんなさい…鹿島さんがいないと何も…！」

#### **\*\*Panel 3\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:

1. **\*\*構図\*\***: CIPHERが黙ってスマホを見ている。鹿島からは連絡なし。
2. **\*\*セリフ\*\***:
  - **\*\*CIPHER (心の声) \*\***: 「鹿島…本当に行ってしまったのか…」

---

## **\*\*Page 2\*\***

**\*\*Number of panels\*\***: 3コマ想定

### **\*\*Page Story (概要)\*\***

- \*\*場面\*\*: 鹿島がオルビス・インディア側に機密ファイル（官公庁DX情報など）を渡すシーン。家族が解放されると約束されるが、完全に組織の手中に落ちる。
- \*\*目的\*\*: 裏切り完了。読者に「鹿島は後戻りできなくなった」と痛感させる。

### \*\*Image Prompt (Page 2)\*\*

`dimly lit exchange scene, male engineer handing over usb or documents, shadowy organization figure, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がUSBを宗方 or カトリーヌの代理人に渡す。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（苦悩）\*\*: 「…これが官公庁DXの内部資料だ…」
  - \*\*組織側\*\*: 「いい判断ですね。奥様と娘さんはすぐに安全な場所に移しますよ。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がほっとする表情を一瞬見せるが、すぐに暗い顔に。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「（これで守れる…けど、俺は…もう戻れない…）」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 宗方やカトリーヌらしき人影が「次の指示」を示唆。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方（冷酷）\*\*: 「まだ終わりじゃないですよ。あなたには、もっと大事な役目がある。覚悟してもらいますからね。」
  - \*\*鹿島\*\*: 「……」

---

## \*\*Page 3\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: チーム内では“鹿島が情報を持ち逃げしたのでは”と疑念が深まる。CIPHERが真相を隠しきれずに語り始める。「鹿島が家族を人質にされているかもしれない」と示唆。
- \*\*目的\*\*: 新人2人が衝撃を受け、チームはさらに混乱。物語の緊迫感がピークに近づく。

### \*\*Image Prompt (Page 3)\*\*

`office corner, tense small meeting, revelation of family hostage situation, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘と白石がCIPHERに詰め寄る。「鹿島さんが何を？」
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石\*\*: 「CIPHERさん、何か知ってるんですよね？ 鹿島さんがどうして…？」
  - \*\*CIPHER（ため息）\*\*: 「実は…彼には家族がいて、組織がそれを利用している可能性が高い。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘と白石が驚きと困惑の表情。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橘（驚愕）\*\*: 「家族を人質に…そんな…ひどすぎる…」
  - \*\*白石（ショック）\*\*: 「だからって裏切り…でも、仕方がないのかな…どうすれば…」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:



1. **構図**: 月城が目进行伏せ、覚悟を決めるように口を開く。
2. **セリフ**:
  - **月城**: 「家族を人質にするなんて…最低のやり方。私たちが助ける方法を探さないとね。」
  - **CIPHER**: 「ああ。鹿島を責める前に、まずは彼を救う。それが今のチームの務めだろう。」

---

## **Page 4**

**Number of panels**: 3コマ想定

### **Page Story (概要)**

- **場面**: CIPHERと月城がCIAや海外の情報ソースにアクセスし、オルビス・インシディアの正体をさらに深く掴む。穏健派の周天慧がいる事なども軽く示唆。
- **目的**: 敵組織の輪郭を読者により明確化。国家陰謀が加速。

### **Image Prompt (Page 4)**

`office or secret data center, two senior engineers scanning global intel, mention of orbis insidia, anime style`

#### **Panel 1**

- **ネーム**:
  1. **構図**: 月城がノートPCで海外のセキュリティレポートを読み込む。CIPHERがVPNか何かでCIA時代の知人リソースに当たる。
  2. **セリフ**:
    - **月城**: 「“オルビス・インシディア” …ヨーロッパやアジアでIT企業を次々と狙ってるって書いてある。」
    - **CIPHER**: 「指揮してるのはリヒト・ヴァイス。投資家のカトリヌ・スレイド、官僚出身の宗方など、内部に派閥もあるようだ…」

#### **Panel 2**

- **ネーム**:
  1. **構図**: 画面に周天慧のプロフィール（穏健派AI研究者）が映る。
  2. **セリフ**:
    - **CIPHER**: 「この人物は“周 天慧”。敵組織内でも暴走を嫌っているらしいが、どう動くかは不明…」
    - **月城**: 「派閥争いか…ややこしいわね。」

#### **Panel 3**

- **ネーム**:
  1. **構図**: 2人が顔を見合わせ、厳しい表情。
  2. **セリフ**:
    - **月城**: 「つまり鹿島くんも、そういう連中に追い込まれてる…」
    - **CIPHER**: 「ああ。放っておけば、ますます国家規模の被害が出る。」

---

## **Page 5**

**Number of panels**: 3コマ想定

### **Page Story (概要)**

- **場面**: 鹿島がついにチームへ“明確な裏切り”の行動を見せるシーン。例えば社内サーバーから機密を持ち出す or 社員証を悪用し侵入。
- **目的**: 裏切りの決定打。読者が「鹿島はもう完全に敵側に立った」と受け止める展開。

### **Image Prompt (Page 5)**

`office after hours, male engineer stealthily accessing secure server, partial silhouette, anime style`

#### **Panel 1**

- **ネーム**:
  1. **構図**: 深夜の社内サーバールーム。鹿島が社員証を使って入室。
  2. **セリフ**:
    - **SFX**: 「ピッ（カード認証）」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がサーバーから政府DX関連ファイルをダウンロードの様子。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「これで…家族は本当に救われるんだよな…？　どうか嘘じゃないでくれ…」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 監視カメラの映像に鹿島の姿が映る小コマ。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*モノログ（ナレ）\*\*: 「誰もいない夜の社内で、取り返しのつかない行為が着々と進んでいた…」

---

## \*\*Page 6\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*

- \*\*場面\*\*: 翌朝、CIPHERたちが“社内ログで鹿島の行動”を発見。絶句するチームメンバー。
- \*\*目的\*\*: 裏切りが決定的となり、チームは大打撃を受ける。橘や白石の精神的ショックが大きい。

### \*\*Image Prompt（Page 6）\*\*

`office morning discovery, group at computer seeing logs, shock and heartbreak, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 白石が監視カメラ映像やアクセスログを見つけ、声を上げる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石\*\*: 「これ…鹿島さん…が…社内サーバーに深夜アクセスを…」
  - \*\*橘（絶句）\*\*: 「嘘だろ…！」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが眉をひそめながら、決定的な証拠を見つける。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「政府DX計画のファイルが抜かれてる…。まさか本当に、敵に渡す気か…」
  - \*\*月城\*\*: 「鹿島くん…どうして…」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘が項垂れ、白石が涙を浮かべる。チームの雰囲気は崩壊寸前。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橘\*\*: 「尊敬してたのに…裏切りなんて…」
  - \*\*白石（涙）\*\*: 「うそ…信じたくない…」

---

## \*\*Page 7\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*

- \*\*場面\*\*: 鹿島からのメッセージ（「すまない…」だけ）や、チームが動揺して進行中のプロジェクトも混乱。
- \*\*目的\*\*: いよいよ崩壊の危機。次回へ繋ぐための大きな谷（ドラマチックな落ち込み）を演出。

### \*\*Image Prompt (Page 7)\*\*

`office in chaos, phone message from traitor, emotional turmoil, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘のスマホに鹿島から「すまない…」とだけメッセージが届く。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橘（啞然）\*\*: 「“すまない”…？これが何の意味になるんだよ…！」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 白石が慌てて和菓子店やAIベンチャーへの対応をしているが、手が回らない。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石\*\*: 「案件が止まってる…クレームも増えてる…このままだと…」
  - \*\*月城（困った表情）\*\*: 「一人抜けただけでこんなに影響が出るなんて…彼の存在は大きかった。」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが全体を見渡し、苦しげに拳を握る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER（心の声）\*\*: 「くそ…このままだとチームが崩壊する…俺の判断が甘かったのか…？」

---

## \*\*Page 8\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 鹿島視点で“家族が解放された”かに見えて、まだ組織の監視下にあることが分かる。完全にオルビス・インシディアに服従させられる。
- \*\*目的\*\*: 鹿島が完全に敵側に落ちた（ただし本人の意志ではなく強制）ことを示す。次回、チームとの再会はさらにドラマチックに。

### \*\*Image Prompt (Page 8)\*\*

`underground or shadowy location, male engineer glimpsing family at a distance, menacing organization presence, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が遠巻きに家族を見るが、組織の保護下というか監視下にある。笑顔で過ごす家族の姿が逆に辛い。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「よかった…無事なんだな…本当に…」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 宗方（または代理人）が「もう逃げられない」と鹿島に言う。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方\*\*: 「家族が解放されたわけじゃない。我々の監視下にある。言う通りに行動してもらわねば困る。」
  - \*\*鹿島（絶望）\*\*: 「そんな…！」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が頭を抱える。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「もう戻れない…俺は完全に敵側に落ちてしまったんだ…」

---

## \*\*Page 9\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3〜4コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: CIPHERと月城が対策を協議。「鹿島は戻ってこないかもしれない」と覚悟し、橘&白石には厳しい指示を出す。今後の展開への布石。
- \*\*目的\*\*: 次回以降の「チーム再編」や「鹿島救出」への動機づけ。仲間を失った悲しみが強調される。

### \*\*Image Prompt (Page 9)\*\*

`office after hours, two senior engineers discussing harsh reality, two newcomers listening in despair, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*名前\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 会議室でCIPHERが地図や資料を広げ、月城がメモを取る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「鹿島が戻る可能性は低い…。奴らに完全に取り込まれたかもしれない。」
  - \*\*月城\*\*: 「でも放っておけないよ。彼を助けるにはどうしたら…」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*名前\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘&白石がショックを受けながら席についている。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橘 (小声)\*\*: 「助きたい…でも僕らじゃ何も…」
  - \*\*白石 (うつむく)\*\*: 「鹿島さん、帰ってきてくれないかな…」

#### \*\*Panel 3\*\* (optional 4コマ)

- \*\*名前\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが2人に「気合を入れる」言葉。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「まだ終わってない。俺たちがやるべきことは、彼が戻ってこれる居場所を守ることだ。…わかったな？」
  - \*\*橘&白石 (決意)\*\*: 「…はい…！」

---

## \*\*Page 10\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: エピローグ。オルビス・インシディア側が鹿島の裏切り行為を確認し、次のステップ（国家レベルの本格攻撃）へ進めると宣言。チームは失意の中、次回へ。
- \*\*目的\*\*: 第6話のクライマックス。チーム崩壊、鹿島喪失状態を読者に実感させ、7話以降の「再起」展開へ繋ぐ。

### \*\*Image Prompt (Page 10)\*\*

`overseas office or hidden lair, antagonist silhouettes acknowledging successful infiltration, sense of impending doom, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*名前\*\*:

1. \*\*構図\*\*: リヒトやカトリヌ、宗方がモニター越しに「鹿島からの情報」を見ている。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*リヒト\*\*: 「フフ…これで日本の官公庁DXにも手を伸ばせる。次はもっと大きく仕掛けるとしよう。」
  - \*\*カトリヌ (微笑)\*\*: 「Investorたちも喜ぶわ。この国のIT産業を牛耳るのは時間の問題ね。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*名前\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 宗方が日本国内の政治力を使う準備を示唆。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方\*\*: 「私が官公庁に口利きして、抵抗勢力を排除しましょう。鹿島にはもう少し協力してもらう必要がありますが。」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: カメラが引きで闇の組織空間。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*リヒト\*\*: 「CIPHER…あいつが出てくるかもしれないが、我々には鹿島がいる。日本のITは終わりだ。」
  - \*\*モノローグ（ナレ）\*\*: 「チームは仲間を失い、オルビス・インシディアは次なる一手を準備している…。すべてが崩れ始めた中、第7話へ——」

---

# \*\*まとめ：第5～6話のポイント\*\*

- 第5話で鹿島の裏切り動機（家族人質）が明かされ、\*\*チーム崩壊の危機\*\*を招く。
- 第6話では\*\*鹿島が本格的に敵組織へ協力\*\*し、官公庁DX情報を盗むなど致命的な行動に出る。
- \*\*CIPHERらは鹿島が裏切った事情を察し、救いたいと思うも、現実には厳しくチーム分裂\*\*状態に。
- \*\*物語は次の7～8話「再起への道」\*\*に繋がり、仲間を失ったチームがどう再結束するか、鹿島がどう苦悩するかを描く流れへ突入。

これにて\*\*第5話「裏切りの代償（前編）」&第6話「裏切りの代償（後編）」\*\*のシナリオ案は完了です。ページ数・コマ割り・セリフ量などは実際の進行に合わせて調整してください。次回（7～8話）では、チームの再建と鹿島の内なる葛藤が物語の焦点となります。